

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">社会保障論</p>	<p>対象学科・学年 教育教福2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">寺村 茂</p>		
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">人口減少社会と社会保障</p>				
<p>授業の概要と目標</p> <p>社会保障は、国家責任の下での所得の再分配、リスクの分担作用である。又、国民相互の支えあいの仕組みとも言える。人口減少社会となった今日の我が国においては、増加し続ける高齢者世代と減少し続ける若年世代（勤労世代）の間での支えあいの在り方が問題となる。本講では、このような視点の下、社会保険制度を中心に我が国の社会保障制度を考えたいと思う。</p>				
<p>評価方法</p> <p style="text-align: center;">テストの成績（35％）に、レポート（35％）、出席状況等（30％）を加味して総合評価します。</p>				
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">はじめての社会保障（有斐閣アルマ）</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">棕野 美智子、他</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">有斐閣</p>		
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">保険と年金の動向（2007年）（厚生指針、臨時増刊） 社会保障（福祉キーワードシリーズ）</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">山崎 泰彦、他</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">厚生統計協会 中央法規</p>		
<p>授業スケジュール・内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 35%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1、社会保障概念 2、社会保障の歴史と世界の社会保障制度 3、我が国社会保障の背景 4、我が国の社会保障制度 5、社会保険と公的扶助 6、保険用語 7、社会保険と私保険 8、健康保険①保険者・被保険者 9、②保険給付・受給手続 10、③財政 11、国民健康保険①保険者・被保険者 12、②保険給付・受給手続 13、③財政 14、後期高齢者医療制度（老人保健） 15、保険医療の担当者 16、医療保険の課題 17、介護保険①保険者・被保険者 18、②保険給付・受給手続 19、③財政 20、国民年金①保険者・被保険者 21、②保険給付・受給手続 22、③財政 23、厚生年金保険①保険者・被保険者 24、②保険給付・受給手続 25、③財政 26、年金の財源方式 27、年金保険の課題 28、労働者災害補償保険 29、雇用保険 30、社会保険の実施体制 </td> <td style="width: 65%; vertical-align: top;"> <p>社会保障とは 社会福祉とは</p> <p>ドイツ、イギリス、北欧とアメリカ 我が国社会保障の歴史</p> <p>急速な少子高齢化と社会保障 地方分権と社会保障</p> <p>社会保険の種類 私たちはどの保険に加入するのか</p> <p>社会保険と生活保護はどのように違うのか</p> <p>むずかしい保険用語</p> <p>社会保険と生命保険、損害保険の違い</p> <p>保険者って誰 誰が加入するのか</p> <p>どのようなサービスがあるのか どのような手続で受けられるのか</p> <p>保険料、一部負担、公費負担</p> <p>健康保険との違い</p> <p>どのようなサービスがあるのか どのような手続で受けられるのか</p> <p>保険料、一部負担、公費負担</p> <p>高齢者医療のしくみ</p> <p>保険医療はどこで誰が行うのか サービスの値段の決め方</p> <p>増え続ける国民医療費、高齢者医療費</p> <p>誰が保険を運営しているのか 誰が加入するのか</p> <p>どのようなサービスがあるのか どのような手続で受けられるのか</p> <p>保険料、一部負担、公費負担</p> <p>人によって加入の仕方が異なる我が国年金制度のしくみ</p> <p>誰がどのような年金をどのようにしたら受給できるのか</p> <p>保険料、公費負担</p> <p>保険を運営するのは誰か 誰が加入するのか</p> <p>どのような年金をいくら受給できるのか 基礎年金との関係は</p> <p>保険料</p> <p>年金の財源は誰がどのようにして負担すべきか</p> <p>年金は何歳からいくら支給すべきか 年金の空洞化 年金制度の一元化</p> <p>業務上の災害に対する補償</p> <p>労働者が失業した場合の生活保障</p> <p>行政組織 社会保険と税制</p> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> 1、社会保障概念 2、社会保障の歴史と世界の社会保障制度 3、我が国社会保障の背景 4、我が国の社会保障制度 5、社会保険と公的扶助 6、保険用語 7、社会保険と私保険 8、健康保険①保険者・被保険者 9、②保険給付・受給手続 10、③財政 11、国民健康保険①保険者・被保険者 12、②保険給付・受給手続 13、③財政 14、後期高齢者医療制度（老人保健） 15、保険医療の担当者 16、医療保険の課題 17、介護保険①保険者・被保険者 18、②保険給付・受給手続 19、③財政 20、国民年金①保険者・被保険者 21、②保険給付・受給手続 22、③財政 23、厚生年金保険①保険者・被保険者 24、②保険給付・受給手続 25、③財政 26、年金の財源方式 27、年金保険の課題 28、労働者災害補償保険 29、雇用保険 30、社会保険の実施体制 	<p>社会保障とは 社会福祉とは</p> <p>ドイツ、イギリス、北欧とアメリカ 我が国社会保障の歴史</p> <p>急速な少子高齢化と社会保障 地方分権と社会保障</p> <p>社会保険の種類 私たちはどの保険に加入するのか</p> <p>社会保険と生活保護はどのように違うのか</p> <p>むずかしい保険用語</p> <p>社会保険と生命保険、損害保険の違い</p> <p>保険者って誰 誰が加入するのか</p> <p>どのようなサービスがあるのか どのような手続で受けられるのか</p> <p>保険料、一部負担、公費負担</p> <p>健康保険との違い</p> <p>どのようなサービスがあるのか どのような手続で受けられるのか</p> <p>保険料、一部負担、公費負担</p> <p>高齢者医療のしくみ</p> <p>保険医療はどこで誰が行うのか サービスの値段の決め方</p> <p>増え続ける国民医療費、高齢者医療費</p> <p>誰が保険を運営しているのか 誰が加入するのか</p> <p>どのようなサービスがあるのか どのような手続で受けられるのか</p> <p>保険料、一部負担、公費負担</p> <p>人によって加入の仕方が異なる我が国年金制度のしくみ</p> <p>誰がどのような年金をどのようにしたら受給できるのか</p> <p>保険料、公費負担</p> <p>保険を運営するのは誰か 誰が加入するのか</p> <p>どのような年金をいくら受給できるのか 基礎年金との関係は</p> <p>保険料</p> <p>年金の財源は誰がどのようにして負担すべきか</p> <p>年金は何歳からいくら支給すべきか 年金の空洞化 年金制度の一元化</p> <p>業務上の災害に対する補償</p> <p>労働者が失業した場合の生活保障</p> <p>行政組織 社会保険と税制</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1、社会保障概念 2、社会保障の歴史と世界の社会保障制度 3、我が国社会保障の背景 4、我が国の社会保障制度 5、社会保険と公的扶助 6、保険用語 7、社会保険と私保険 8、健康保険①保険者・被保険者 9、②保険給付・受給手続 10、③財政 11、国民健康保険①保険者・被保険者 12、②保険給付・受給手続 13、③財政 14、後期高齢者医療制度（老人保健） 15、保険医療の担当者 16、医療保険の課題 17、介護保険①保険者・被保険者 18、②保険給付・受給手続 19、③財政 20、国民年金①保険者・被保険者 21、②保険給付・受給手続 22、③財政 23、厚生年金保険①保険者・被保険者 24、②保険給付・受給手続 25、③財政 26、年金の財源方式 27、年金保険の課題 28、労働者災害補償保険 29、雇用保険 30、社会保険の実施体制 	<p>社会保障とは 社会福祉とは</p> <p>ドイツ、イギリス、北欧とアメリカ 我が国社会保障の歴史</p> <p>急速な少子高齢化と社会保障 地方分権と社会保障</p> <p>社会保険の種類 私たちはどの保険に加入するのか</p> <p>社会保険と生活保護はどのように違うのか</p> <p>むずかしい保険用語</p> <p>社会保険と生命保険、損害保険の違い</p> <p>保険者って誰 誰が加入するのか</p> <p>どのようなサービスがあるのか どのような手続で受けられるのか</p> <p>保険料、一部負担、公費負担</p> <p>健康保険との違い</p> <p>どのようなサービスがあるのか どのような手続で受けられるのか</p> <p>保険料、一部負担、公費負担</p> <p>高齢者医療のしくみ</p> <p>保険医療はどこで誰が行うのか サービスの値段の決め方</p> <p>増え続ける国民医療費、高齢者医療費</p> <p>誰が保険を運営しているのか 誰が加入するのか</p> <p>どのようなサービスがあるのか どのような手続で受けられるのか</p> <p>保険料、一部負担、公費負担</p> <p>人によって加入の仕方が異なる我が国年金制度のしくみ</p> <p>誰がどのような年金をどのようにしたら受給できるのか</p> <p>保険料、公費負担</p> <p>保険を運営するのは誰か 誰が加入するのか</p> <p>どのような年金をいくら受給できるのか 基礎年金との関係は</p> <p>保険料</p> <p>年金の財源は誰がどのようにして負担すべきか</p> <p>年金は何歳からいくら支給すべきか 年金の空洞化 年金制度の一元化</p> <p>業務上の災害に対する補償</p> <p>労働者が失業した場合の生活保障</p> <p>行政組織 社会保険と税制</p>			